

2009年8月14日

NO 0902

〈今後の日程〉

- 8/22 支部代表者会議
- 9/12 支部代表者会議
- 10/3 支部代表者会議
- 10/30(金)~31(土)
学習交流集会

現評

愛知県職連合会 現業評議会

名古屋市中区三の丸2-3-2
愛知県自治センター
代表 052-951-4036
FAX 052-972-0649
www.aichikenshoku.gr.jp



不安を希望にかえるため

みんなで動いて考えよう

ずーっとここで働きたい

動物保護

に急遽、

18日(土)

め、7月

まった

なつてし

た状態に

非常に混乱し

安がつのり、

り職場での不

示の遅れによ

当局からの提

導員部会では、

理センター指

動物保護管

動物保護管
理指導員部
会では

2009年度後半期の取組 (6.20評議員会方針 抜粋)

本県の『取組方針』にもとづき「業務のあり方」をの整理し、民間委託、非常勤化などによる「正規職員の引適正化」と「給与制度の適正化」として給与水準の引き下げが提示されると考えられます。

現業の「業務のあり方」については、これまでに要求方向が明確な動物保護管理指導員、農林水産関係、き給食関係は職場要求での取組を強化しながら引き続き、要求の実現をめざすとともに、それ以外の職種につきは提示内容にもとづき該当の職種で議論して対応を決めています。

また、給与水準の引き下げ問題も含め取組にあたっては、組合本部・職協・分会と連携をとりながら、現業評議会が主体となって交渉をすすめます。

① 動物保護管理指導員の取組

現業評議会は、動物保護管理指導員部会と共同して、従来の単純労務とはいえない業務内容に変化している実態を明らかにし、今後も動物保護管理指導員として同じ業務ができる一般職化の実現をめざします。

② 農林水産関係現業職員の取組

農林水産関係の現業職員については、部に対して今後の現業の業務のあり方や現業職員の必要性を明確にさせることが重要であり、取組にあたっては農林水産部協議会と連携をとりながらすすめていきます。

③ 給食関係現業職員の取組

病院・施設の給食職場の「業務のあり方」については、直営堅持を基本に引き続き給食業務のあり方、正規職員の必要性などについて病院組合と連携して取組をすすめていきます。

以上のように後半期を引き続き「現業評議会の正念場」と位置付け私たちの職場と仕事を守るため組合の学習と団結を強めていきます。

管理指導員集会を召集し16名の参加のもと、今後の活動方針の意思統一を

現業評議会は、6月20日、評議員会を開き今後の方針を決定しました。
今年度の最大の課題は、本県の「技能労務職員の給与等の見直しに向けた取組方針」に対する現業職員の職場と仕事を守る取組みです。
しかし当局からの何の提示も無いまま半年が過ぎました。ここで動揺することなく自分たちの仕事に誇りと責任を持ち、自信を持って後半期の運動を進めていきたいと思います。

再度はかりました。
農水関係職場では
農水関係職場では、部局による現業職員の定数配置に関する調査が行われ、部内の検討をした結果、今の事業規模を維持していくのであれば、これ以上の削減は無理であるとの結果が出されました。

もはや現業職員だけの問題ではなく、職場そのものの存続の危機であり、一般職とともに職場を守る取組が必要です。
病院給食部会では
病院部会では、循環器呼吸器病センター問題について、当初22年度に一宮市民病院と統合の方向が示されましたが、未だ

に病院事業庁は具体的な説明をしていません。

「循環器呼吸器病センターはどうなるのか。他病院へいくことになるのか、どうなるのか？」と不安を抱えながらの日々が続いています。

提示時期を

早急に明らかに

当局から取組方針に対する提示が遅れに遅れていることにより、各職種ともに将来に対する不安ばかりが募り、かなり混乱しています。

現業評議会は、この混乱を収め交渉期間を確保するためにも、当局にいつ提示するのか、早急に明らかにするよう求めていきます。

出発前日まで心配していた天気も、参加者全員の日頃の心掛けが良かったのか、特に「石川県方面は晴マークになってます」と、ガイドさんがネットで検索して報告してくれました。



翌日は千里浜なぎさドライブウェイを快走し、石川県からくりに会館に立ち寄りしましたが、意外に楽しい施設でみなさん童心に返り、集合時間ギリギリまで楽しみました。

年々現評組合員が減少しているにも関わらず、今回は昨年より4名も多い34名の参加でした。

高速道路はご承知の通りETCの乗用車・土日休日割引の影響で途中渋滞に巻き込まれ、白川郷・瑞龍寺そして旅館には1時間遅れで到着しました。

バス車内ではクイズやカラオケ等で盛り上がり、特にカラオケは旅館到着ギリギリまで歌いまくり、それでも歌い足りないようで、宴会でもしつかり歌い、さらに全員踊っ

2009 7/11~12 現評交流レク 世界遺産白川郷と和倉温泉の旅

昼食後、武生そば道場にてそば打ち体験を楽しみましたが、出来上がりを拝見すると、そうめんのようなそばや、きしめんのようなそばが出来上がりましたが、自分で作ったおそばはさぞかし美味しかったのでは?? 2日間天気にも恵まれ本当に楽しいレクでした。

(副議長 友山)

09年度現業給与実態調査(概要)

今年の給与実態調査の中間集計をお知らせします。

調査には、正規の現業職員195人中、182人から回答をいただきました。その内、昨年の調査結果と明らかに合わない回答の8人を除き、174人分を集計しました。

～査定昇給 昇給加算は昨年より改善～

今年と昨年の昇給の状況は、表のとおりです。査定昇給制度では、通常の場合(4号昇給(55歳以上の場合は2号)に、勤務評定ABや公務貢献により60%相当の職員に1号、昇給が加算されます。

調査結果の内、3、5、6号昇給の職員は昇給加算があったとみなして集計すると、昨年は27.1%でしたが、今年は34.5%で7.4ポイント増加しました。

しかし、県職全体の60%相当の割合からは大きく下回っているのが実態です。

～昇給ゼロ 最高号給到達者が増加～

今年の調査で、昇給がゼロだった職員が32人(18.4%)もあり、昨年より増加しています。平成18年の給与構造改革でワク外昇給を廃止したため、最高号給に達すると昇給がありません。(4級は97号給、3級は113号給) 一般職では昇任(主査級、補佐級へ上がる)ことすれば上の級へ昇格できますが、昇任が極めて少ない現業職では大きな問題です。

	21年度		20年度	
0号	32人	18.4%	26人	14.9%
1号	人	0.0%	3人	1.7%
2号	21人	12.1%	20人	11.5%
3号	13人	7.5%	13人	7.5%
4号	61人	35.1%	78人	44.8%
5号	45人	25.9%	29人	16.7%
6号	2人	1.1%	5人	2.9%
合計	174人	100.0%	174人	100.0%